



かるがも便り

秋季

85号

1月・4月・7月・10月の年4回発行

石神井まちづくりの会 代表 兼 編集者：下河秀行

デザイン・構成：西森由紀子

今号の 記事内容

- 1面：全国都市農業フェスティバルを開催！
 2面：知られざる練馬の歴史シリーズ⑩ 葛城明彦氏
 3面：練馬の美術シリーズ 観蔵院曼荼羅美術館展！
 4面：SDGsに取り組む南田中図書館の活動！

- 5面：石神井東中学校が取組むSDGs（持続可能な開発目標）
 6面：練馬区のサークル紹介①NSNねりまシニアネットワーク
 7面：ねりまシニアライフ講座【人生100年時代をどう生きる】
 8面：【練馬シャンソン教室発表会】&【練馬ジャズ教室発表会】



～全国都市農業フェスティバルを開催！～

11月19日(日) 都立光が丘公園で



全国の都市農業が練馬区に集結する

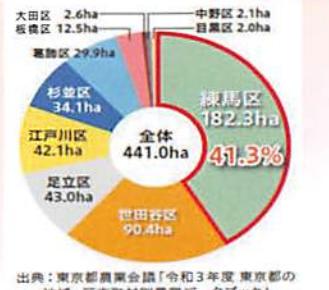
練馬区は、令和元年度に開催した「世界都市農業サミット」の成功をもとに、都市農業に積極的に取り組む自治体や農業者とともに、都市農業の魅力を発信し、更なる都市農業振興を図るため、来る11月19日(日)東京都立光が丘公園で【全国都市農業フェスティバル】を開催することになった。

今回の【全国都市農業フェスティバル】は、【買う】、【食べる】、【体験する】、【話す・学ぶ】をテーマに行われる。【買う】では練馬産の採れたての野菜や果物に加えて江戸東京野菜や京野菜など、珍しい全国各地の農産物を販売する。【食べる・体験する】では練馬産だけでなく、全国の野菜や果物を使った料理を販売するキッチンカーが一堂に集結します。農業者が講師になるワークショップなど都市農業の魅力に触れることができ親子揃って楽しめる体験コーナーを設ける。【話す・学ぶ】では、全国で活躍する都市農業者が、都市農業の魅力や各地域の特色ある取り組みなどを熱く語る。



【参加都市のご紹介】

フェスティバルでは都市農業に積極的に取り組む自治体のうち、東京都内、および三大都市圏から1都巿ずつ計4都市が共に盛り上げる。更に、生産緑地を持つ全国の自治体に農産物の販売など幅広い方法で参加を募る。



出典：東京都農業会議「令和3年度 東京都の地域・区市町村別農業データブック」

【生きた“農”と共に存・発信するまち練馬】



練馬区には、多くの農地が残されている。東京23区の中で最も多く、23区にある農地の約4割が練馬区にある。

練馬の農業は、大都市にありながらも、豊富な生産力を誇るとともに、都市における生活の質をより豊かにする農のあり方を常に発信続けている。まさに“生きた農業”なのである。(下河秀行)

◆詳しいお問い合わせは、【全国都市農業フェスティバル】実行委員会事務局(練馬区都市農業課)

☎ 03-5984-1498

お買い物・飲食は地元商店街で

パクリード

石神井



石神井公園商店街振興組合



※詳しくはQRコードをスキャン

【知られざる練馬の歴史シリーズ⑭】

豊島一族の最期とその通説の変化

中世の頃、練馬付近を領有していた豊島一族は、1477(文明9)年～翌年に江戸城主・太田道灌に攻められ滅亡しているが、その最期についての通説は、近年史料の再検討が進んだことにより大きく変化している。

実は、豊島氏の滅亡を伝える史料は元々『太田道灌状』と『鎌倉大草紙』しか存在せず、そのため従来は双方の記述を合わせて通説とするのが慣例となっていた。しかし、この『大草紙』は問題も多く、ここ10～20年においては「依拠すべきではない」とする研究者が急増しているのである。

最大の問題点は、記述の類似からも後世(江戸初期頃か?)に『道灌状』を下敷きとして作成していることが明らかであるにも関わらず、情報はむしろ増えている上、具体性も増している点で、これは現在、作者が独自の解釈や脚色、想像、地元の伝承などを付け加えた結果と考えられるようになってきている。

特に変更されつつあるのは以下の2点である。

まず、以前の通説では「道灌が最初に攻めた豊島方の城は「平塚城(北区)」(『鎌倉大草紙』による)とされていたが、同説も今は「練馬城」とするのが一般的となっている。道灌は出撃してきた豊島方に対して「馬を返して(引き返して)江古田原で迎え撃って」いるが、これは西北側の石神井城・練馬城に対しての行動とみるべき、とされるようになったためである。また、翌年1月に豊島方が再起を図った件について、『道灌状』では「平塚と申すところに対城こしらえ」



▲江古田原古戦場碑
(江古田公園内)

と記されており、前年段階においてはまだ平塚城が戦闘用の城郭でなかったことも明らかである。加えて、道灌が最初に平塚城を攻めているのならば、「平塚と申す所」という、あたかも初めて名前を出すかのような表現をしていることも極めて不自然、といわざるを得ないのだ。

そして2点目。以前の通説では、最後に石神井城主は丸子城(現・神奈川県川崎市)からさらに小机城(現・神奈川県横浜市)へと逃亡したことになっていたが(『鎌倉大草紙』による)、これも現在は「足立(=足立郡:現足立区～埼玉県南東部)より遙か遠くに逃げ、以後は行方不明」とするのが正しいとされている。そもそも道灌に追われ、足立から北～北東方向へ逃亡した同城主が翌朝川崎の丸子城に現れるはずはないのである。道灌は「(追跡を諦め)夜になって江戸城に帰城した。翌朝、丸子城を攻めたところ敵は小机城に逃げた」と記しているのみで、これが豊島氏だとは述べていない。また、もし道灌配下の誰かが豊島氏を丸子まで追い、翌朝までにそれを道灌に報告したとすれば、その人物は冬場で半分真っ暗闇の中、1日で100キロ以上移動したことにもなってしまうのである。

これに限ったことではないが、歴史は後世に書かれた「軍記物」によって各所で大きく歪められている。考察を行う際には、今後それについても注意を払うとともに、十分検討を行うことが必要となってくるであろう。



▲豊島一族のものと伝わる石塔
(道場寺)

安心・安全をサービスにおもてなし

石神井公園

旧西友通り

また行ってみたい商店街へ

石神井町二丁目通り商店会

全26基、LED街路灯に建て替え更に街が明るくなりました。

石神井町
二丁目通り商店会



観蔵院 第29回 仏画・悉曇・截金特別展 一陽來福 ~曼荼羅美術館の七十二候~

- ◎期 間：2023年11月2日（木）～4日（土）
 ◎場 所：観蔵院曼荼羅美術館・本堂・客殿
 ◎拝観時間：10時～16時（入館は閉館の30分前まで）
 ◎拝観無料

◆ご挨拶◆

コロナ禍の影響で人との触れあいが少なくなり、私たちの毎日の生活も後ろ向きになりがちでした。しかし冬が過ぎれば必ず春が到来します。

今年の「一陽來福」のテーマは、仏画・悉曇・截金の作品を通じて、心が豊に広がることを念じたものです。会場に来られる方々に、多くの福がもたらされることを信じています。

観蔵院長老・小峰彌彦

<特別企画>

- ① 声明公演「萬燈会」：真言法饗会

11月3日（金）午後5時 本堂・境内
 拝観無料

- ② 演奏会：奉納「一陽來福 ~観蔵院曼荼羅美術館の七十二候~」に寄せて

日 時：11月4日（土）午後1時半～3時（開場：午後1時）

場 所：観蔵院本堂

演奏者：尺八・笛（録音）：鈴木裕子 琵琶：森 葉子 箏・十七絃：川上知春

演奏曲目：壹越・西行・敦盛・一陽來福（朗誦）・天華 他

定 員：80名（先着順）

料 金：SS席（22席）：4,000円 S席（22席）：3,000円 A席（36席）：2,000円

申 込：080-9362-5099（川上） info@tsumaoto.com（川上）



「如意輪觀音」染川英輔 画

<特別展協力>

染川英輔 主宰：観蔵院仏画教室・恵比寿読売カルチャーセンター

小峰智行 主宰：観蔵院悉曇研究会

腰塚勝也 主宰：大正大学オープンカレッジ・遍照院仏画教室

西川みつ子 主宰：観蔵院截金教室・錦糸町読売カルチャーセンター

金丸真理子 主宰：NHK文化センター青山教室・三越カルチャーサロン

新井光章 主宰：大森・川崎・北千住読売カルチャーセンター

小峰和子 主宰：寶蓮寺仏画教室

慈雲山曼荼羅寺観蔵院併設

〒177-0035 東京都練馬区南田中4-15-24

曼荼羅美術館 TEL: 03-3996-6858

FAX: 03-3996-6878 https://kanzouin.wixsite.com/mandala

菅原 医院

www.sugawara.or.jp

☎ 3996-3016

診療時間

● 平 日	午前9:00～12:30	● 土 曜	午前9:00～12:00
	午後3:30～ 7:00		休診日：水曜/日曜/祝日



練馬区石神井町3-9-16

- 診療科目 ●
- 内 科
 - 糖 尿 病 内 科
 - リウマチ科
 - 胃 腸 内 科
 - 循 環 器 内 科

菅原 医院

www.sugawara.or.jp

☎ 3996-3016

診療時間

● 平 日	午前9:00～12:30	● 土 曜	午前9:00～12:00
	午後3:30～ 7:00		休診日：水曜/日曜/祝日



2015年国連採択されたSDGsとは何を目指すのか?を考えてみることにした。目標は、大きく分けて17項目に分かれている。

石神井地域で取り組む【SDGs】について考えてみることにした。

【SDGs】④は、質の高い教育をみんなに…すべての人々に包摂的かつ公平で質の高い教育を提供し、生涯学習の機会を促進する。地元 南田中図書館の【SDGs】(持続可能な開発目標)の取り組みについて、館長 高橋 晃氏にインタビューした。

【目標は、大きく分けて17項目に分かれている】

Q1. 南田中図書館 その特徴は?

A. 平成18年の「環境都市練馬区宣言」の後に南田中図書館の設立が具体化されたことを踏まえて、「環境」をテーマにした図書館づくりと運営を目的として計画され、平成21年5月1日に練馬区で12番目に建てられた図書館です。

南田中図書館は自然環境の大切さの理解を促すような事業を多く実施していて、例えば「緑のカーテン」を育てるイベントや「ワイワイ自然塾」(ワークショップ)、「映像を通してSDGsを考える映画会」、近隣の寺院「観蔵院」の井戸水を分けてもらって実施する「打ち水」などの行事の実施や環境について学び、考えるための特集展示などで環境関連資料の貸出しを促進しています。また施設面でも屋上・壁面の緑化や太陽光発電パネルの設置など、環境に配慮した図書館です。

また、南田中小学校に隣接していることも大きな特徴の1つで、扉1枚で学校とつながっている利点を活かし、児童を図書館に招待して、図書館の使い方のオリエンテーションや図書館探検、お仕事体験、調べる学習コンクールの特別授業の支援など、様々な連携を行っています。そのほかにも南田中小学校を含む近隣小中学校6校に対して、図書館資料の団体貸出や本の探検ラリー、職場体験などの支援を行っています。

Q2. 質の高い教育を目指したSDGsの取り組みは?

A. 南田中図書館の目標の一つでもある、だれもが気軽に利用しやすい「ご近所図書館」を合言葉に図書館運営をしており、赤ちゃんからご高齢の方まで、切れ目のない読書支援を行っています。

例えば0歳からのブックスタート事業、赤ちゃん向けや幼児向けのおはなし会、そのほか子ども向けの各種イベントなど子どもの興味関心や知りたい気持ちを育む事業や、探求的学習を支える調べる学習コンクール参加の支援、中高生が主体的に考え、行動し楽しみながら読書につなげるユースソポーターの活動支援、課題解決に向けた医療講座や暮らしの講座のほかにも、生涯学習を楽しむ趣味の講座など大人向けのイベントも多種多様に行っております。

また館内のサービスだけでなく、アウトリーチ活動も積極的に行ってています。学校へは団体貸出の支援や行い、高齢者施設などの福祉施設には出張おはなし会やブックトークも実施し、図書館になかなか来館できない方にも読書を楽しんでいただけるように支援を行っています。

図書館は“本を借りて読む”だけではなく、地域の方の“知”を支える様々な取り組みを行っています。



葬儀に関する事なら何でもご相談ください

24時間
安心ダイヤル
フリーダイヤル
0120
ヨイセレモニー
0120-41-7062

■本社：練馬区上石神井4-9-24 TEL:03-3929-1040

■サロン：東大泉店・大泉学園町店・石神井公園駅前店・大泉学園駅前店・中野駅前店



2015年国連採択されたSDGsとは何を目指すのか?考えてみることにした。目標は、大きく分けて17項目に分かれている。

石神井地域で取り組む【SDGs】について考えてみることにした。

【SDGs】④は、質の高い教育をみんなに…すべての人々に包摂的かつ公平で質の高い教育を提供し、生涯学習の機会を促進する。地元 石神井東中学校の【SDGs】(持続可能な開発目標)の取り組みについて、校長 市川 昌彦氏にインタビューした。

【目標は、大きく分けて17項目に分かれている】

Q1. 石神井東中学校の紹介について

A. 本校は、昭和22年5月1日、学制改革による新制中学校として開校され、今年で76年目を迎えました。区内中学校の中でも歴史と伝統があり、地域の皆様に支えられてきた学校です。西武池袋線練馬高野台駅北口より徒歩3分と大変交通の便が良く、閑静な住宅地の落ち着いた環境にあり、駅から本校に向かう歩道沿いの敷地内には、地元商店会のご協力によってたくさんの花を植えたフラワーロードが来校者・生徒たちを迎えます。

練馬高野台駅のホーム北側から見える本校の屋上には「心をひとつに」というスローガンを掲げてあり、他にも「良きプレーヤーである前に、良き中学生であれ」という部活動スローガンも伝統的に受け継がれ、生徒たちは日々の学校生活や部活動に励んでいます。

Q2. 石神井東中学校の教育教育理念について

A. 石神井東中学校は、人権尊重の精神を基に、心身ともに健康で、知性と感性に富み、社会性や人間性豊かな生徒の育成を目指し、教育活動に取り組んでいます。

「学校は、生徒にとって居心地の良い安全で快適

な生活の場であり、一人一人活躍の場があり、学校生活を通して学ぶ喜びを味わいながら、日々の成長を実感できるところでなくてはならない。教員にとっては教職に対する生き甲斐を実感できるところ、保護者にとっては毎日安心して我が子を送り出せるところでなくてはならない。そのために、全教職員が組織的に創造性と主体性を發揮しながら、生徒が将来をたくましく生き抜き、それぞれが様々な分野で活躍することのできる基礎となる力を身に付けることを目指し、学校づくりに努めること」を学校経営の基本理念としています。

Q3. SDGSの取組について

A. 本校では、各教科をはじめ、総合的な学習の時間や学校行事、生徒会活動等を通して持続可能な開発目標の実現に向けて取り組んでいます。例えば、現3年生は、1年次から広島での修学旅行に向けて、戦争の悲惨さ、生命の尊さや人間の尊厳などの平和教育に取り組んできました。学校全体ではゴミの分別や省エネ、資源のリサイクル活動の推進、女子の制服にスラックスを導入したり、出席簿や生徒名簿には男女混合名簿を活用するなど、男女平等やジェンダーフリーの実現にも取り組んでいます。

お住まいのご相談は、お気軽に・・・夢・・・住まいの明日を創る

建築・設計・施行・不動産売買 リフォーム工事承ります!!

建築業許可都知事(4)55259号 宅建業免許都知事(12)37486号

株式会社 山田工務店

〒177-0042 東京都練馬区下石神井1丁目14番30号 電話(03)3904-3521(代表) FAX(03)3904-3523

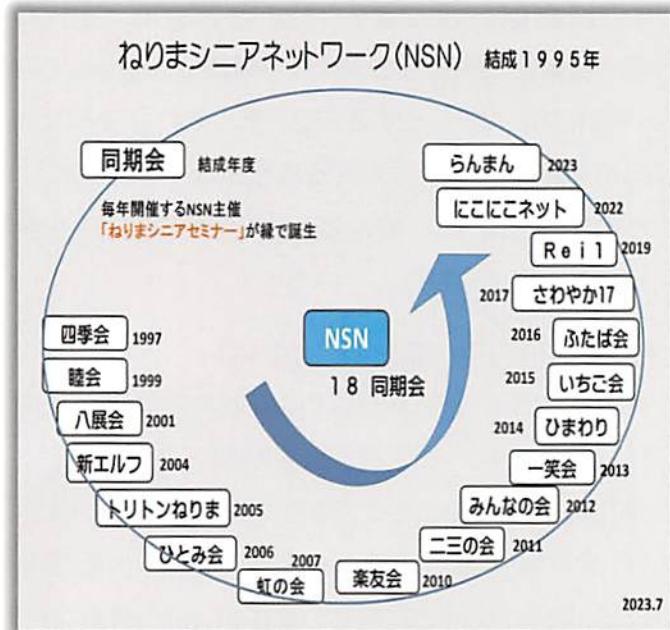
~練馬区のサークル紹介~ その①

サークル紹介その①として、NSNを紹介しよう

高齢化社会のなか、定年退職者や自営業者などが現役を退いた人たちが自分たちの居場所づくりや地域との繋がりを求めて「老人会」の名称で存在することはよく知られている。

ねりまシニアネットワークとは

この老人会とは全く別に、平成4年に誕生した高齢者の集まりであるシニアクラブ（会長 山本雄一）は、平成5年11月シニアの居場所づくりのため、練馬区社会福祉協議会（以下、社協という）が主催してシニアセミナー（第1・2回）を開催した。第3回は、社協と、ねりまシニアクラブの共催で行われた。



第4回からは「ねりまシニアネットワーク」（初代会長 山本雄一・略称: NSN・2019年から二代目会長 武藤 哲）の主催で開催し、今年度の「第29回シニアセミナー」と長く続いている。

毎年シニアセミナーを受講した人たちが自主的に自分たちの仲間づくりを行ない、今まで既に28の同期

NSN ねりまシニアネットワーク

会が誕生しており、うち10の同期会が高齢化、フレイ儿、介護などの理由で退会している。

ねりまのシニアが積極的に活動…

- 1.「ねりまシニアセミナー」の開催(29回)
- 2.「サマーフェスティバル」の開催(19回)
- 3.「ついの住まい方研究会」の開催は、何度か名称を変更して(44回)
- 4.「バス旅行」の実施(10回)
- 5.「チャリティ・クリーン・ウォーク」(5回)
- 6.「講演会＆コンサート」(20回)
- 7.会報「NSNニュース」(107号)などの地域活動を行っている。



▲毎年盛大に行われた【サマーフェスティバル】

現在、ねりまシニアネットワークは、会長の武藤 哲氏を中心に、練馬のシニアがいきいきと活動出来るよう、全同期会から選出された運営委員や各事業担当の委員によって、上記の各行事が毎年創意工夫されて盛んに行われている。（下河秀行）

【会長 武藤 哲氏からメッセージ】

「自由な時間がやっと持てた。残りの人生、大いに楽しみたい」と思っている貴方、一人も良いですが仲間がいればもっと楽しいですよ。区内に友達を作つて、一緒に活動しませんか？一人では無理でも仲間があればできることは色々。毎年5月開催の「ねりまシニアセミナー」（区後援、ココネリホール）にお越しください。素敵な仲間が見つかります。



石神井公園駅そばにある創業53年、総合保険代理店です。
皆様が安心して生活できるよう保険でサポートいたします。

株式会社 K's トラスト

〒177-0041 練馬区石神井町3-25-8 橋本ビル2階
FAX 03-5923-7776
e-mail info@ks-trust.net

《取扱保険会社》

03-5923-7775

三井住友海上火災保険株式会社・東京海上日動火災保険株式会社・三井住友海上あいおい生命保険株式会社・東京海上日動あんしん生命保険株式会社・ジプルタ生命保険株式会社



K's TRUST

～人生100年時代を快適におくるための～ 【ねりま シニアライフ講座】

～セカンドライフをより豊かにするには～



最近「人生 100 年時代」とよく言われています。政府の有識者会議「人生100年時代構想会議」の議員を務めるリンダ・グラットン 英ロンドンビジネススクール教授は人材論の権威者で著書「ライフ・シフト」で長寿化に対応した「人生100年

時代」を提唱したことでも知られています。

グラットン氏が考える「人生100年時代」のイメージは、これまで【教育→仕事→退職後の余生】であった。これからは、【教育→育児→仕事→社会貢献→社会貢献→余生】または、【教育→仕事→学び直し→起業→社会貢献→余生】などとしている。年齢に関係なく知識や技能を身につけ長く働くことが重要としている。私には、とても出来そうでないが氏の意見には賛成である。

このように、日本では今【働き方改革】が問われている。即ち、労働環境の改革が必要である。

特に、中小学校の教職員、土木建設業労働者、介護者、サービス接客業、物販販売員、医療関係者、国家公務員などで、過重労働で退職者が増えているのは、大きな社会問題となっている。

- ◎とき：令和5年10月15日(日) 午後2時 4時
- ◎ところ：練馬区石神井庁舎 5階 第1・2会議室

【講 座】

**第一部：人生100年時代をどう生きるか
【日本の働き方改革とセカンドライフ】**

講師：NSN ねりまシニアネットワーク
楽友会 会長 下河 秀行

第二部：終活／【人生最後の仕舞い方】

講師：株式会社 まきの
石神井公園駅前店 店長 好永章二

- ◎申込：下記参照 着順 50名
- ◎会費：500円（テキストを含む）
- ◎後援：練馬区高齢者対策課

◆お申し込み◆ ねりまシニアネットワーク 楽友会

出来る限り【メール】にてお願いします。e-mail h.shimogawa@kind.ocn.ne.jp

往復ハガキの場合：①住所②氏名③電話番号を記入の上、練馬区南田中 4-25-3 下河宛

いずれもご無理な場合は TEL080-6607-4321 FAX 03-5393-7381

※ 会場には有料駐車場があります。

== 西武新宿線(井荻駅～西武柳沢駅間)連続立体交差事業について ==

井荻駅～西武柳沢駅間の早期着工を

西武池袋線は、練馬高野台～大泉学園駅までの2.4Km が連続立体交差化されて便利になるとともに、池袋線～地下鉄東京メトロ～東急東横線～みなとみらい線と繋がり、相互乗り入れとなり交通アクセスが非常に良くなつた。

これに比べて、西武新宿線は朝夕のラッシュアワーは「開かずの踏切」で、慢性的な交通渋滞になっている。そのため東京都は、西武新宿線(井荻駅～西武柳沢駅間 5.1km)の連続立体交差事業により、補助第229号線(千川通り)などの、19ヶ所の踏切の解消を

目指し、令和3年11月に連続立体交差化計画を都市計画決定し、令和4年度から測量を行っており、令和5年度には事業認可を取得する予定である。その後「用地補償説明会」や「工事説明会」などを行う予定である。



同区間の構造形式は高架式(嵩上げ式)及び地表式である。

▲新宿線上石神井第1号踏切道

練馬シャンソンを楽しむ会 第9回【練馬シャンソン教室発表会】

練馬シャンソンを楽しむ会「練馬シャンソン教室」は、設立16周年になり、第9回【練馬シャンソン発表会】を、令和5年10月27日(金)開催します。パリの香りがするシャンソンや想い出の映画音楽など人生の想いを歌に込めて歌います。皆様もご来聴いただき、楽しいシャンソンをお楽しみ下さい。

- ◎と き：令和5年 10月 27日 (金)
- ◎時 間：開場 12時30分 開演 13時～16時 終了予定
- ◎ところ：大泉学園駅 北口 徒歩1分「ゆめりあホール」
- ◎入場料：無料（出入り自由）
- ◎出 演：第1部 練馬シャンソン教室 生徒による発表会
第2部 シャンソン教室生徒&講師 清水智子
&アコーディオン奏者 マツオカ利休
- ◎主 催：練馬シャンソンを楽しむ会「練馬シャンソン教室」 ◎後 援：練馬区教育委員会

*お問い合わせ 携帯:080-6607-4321 e-mail h.shimogawa@kind.ocn.ne.jp



練馬ジャズを楽しむ会 第7回【練馬ジャズ教室発表会】

練馬ジャズを楽しむ会「練馬ジャズ教室」は、設立8周年になり、第8回【練馬ジャズ教室発表会】を、令和5年11月3日(祝日)開催します。本場アメリカのジャズや想い出の映画音楽など人生の想いを歌に込めて歌います。皆様もご来聴いただき、楽しいジャズをお楽しみ下さい。

- ◎と き：令和5年11月3日 (祝日)
- ◎時 間：開場 13時30分 開演 14時～18時 終了予定
- ◎ところ：「スタジオ K」JR中央線高円寺駅から中野よりに徒歩5分
- ◎入場料：無料（出入り自由）
- ◎出 演：練馬ジャズ教室の生徒 21名 & 講師 ピアノと歌 矢作木の実
ベース 横山 裕、ドラム Jun Sito、サックス 宮地 傑
- ◎主 催：練馬ジャズを楽しむ会「練馬ジャズ教室」 ◎ジャズ教室（石神井教室&練馬教室）

*お問い合わせ 携帯:080-6607-4321、または講師 矢作(携帯:090-8315-0030)



編集後記

【災害は忘れたころにやって来る】と、幼少期からよく言われてきた。未曾有の被害をもたらした関東大震災から今年9月1日で100年が過ぎた。近来稀な大型の報道で、最近は地球温暖化や炭素社会の影響で毎年のように水害や火災などが起きている。更に、首都直下地震や南海トラフ地震などで市民生活の危険は益々増している。特に東京は、1,400万人という人口増や大量の物流などの一極集中の過

密都市になっており、超高層ビルも乱立しており、逃げ場のない状況が予想されている。震災後は、都心からの帰宅難民も大勢出ると言われている。私たちは、このような状況の災害に日頃から備えることを心掛けて生活していくことが重要だ。また最近、脱炭素【デコ活】推進する(脱炭素と環境のエコを組み合わせたもの)という新語も使われだした。

(下河秀行)

Shimizu Dental Clinic

シミズ デンタル クリニック
歯科・小児歯科・矯正歯科・歯科口腔外科
練馬区 石神井町 3-17-15 KYビル1階
石神井パークロード商店街 銀座通り
診療時間 9:00～18:00 月曜～土曜
お盆休み 13:00～14:00
日曜 祝祭日 年末年始 休診
03-6913-3517 
<https://firstmolar.jp/>

～お知らせ～

当院では、**歯科訪問診療**を行っています

クリーニングから、入れ歯の製作・調整、虫歯・歯周病まで

ご家庭や施設など限られた環境でも

経験豊富で心優しい訪問診療の専門医がしっかり対応

みなさまの「食べる、笑う、話す」をサポートします



院長 清水 雄一郎

どんなお悩みにも温かく対応します お気軽にお問い合わせください

石 神 井
まちづくりの会

ご意見等は、**TEL & FAX**、又は左下の e-mail へ送信してください。

TEL & FAX 03-5393-7381 携帯 080-6607-4321

【かるがも便り】は、区民交流センター・石神井庁舎・え～る・練馬区内12の図書館・ふるさと文化館・勤福会館等にあります。